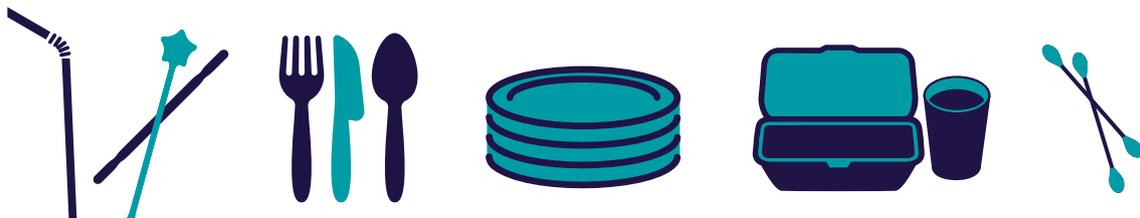


# ビクトリア州における 使い捨てプラスチック 製品の禁止について

Japanese | 日本語



## プラスチック汚染は環境と野生生物に 悪影響をもたらす

使い捨てプラスチック製品は私達が目にする環境ゴミの三分の一を占めており、ゴミの除去は困難でコストがかかる作業です。

使い捨てプラスチック製品の多くは、数分間だけ使用された後、リサイクルが困難な大量の廃棄物と化します。使い捨てプラスチック製品は、従来のプラスチック製品と同様に環境を汚染する可能性があります。

堆肥化可能なプラスチックや分解性のプラスチックも、多くの場合さらに特別な処理が必要となります。すべてのプラスチックは、投棄されると環境に有害な影響を与える可能性があります。

## 特定の使い捨てプラスチック製品が現在禁止に

ビクトリア州では、以下の使い捨てプラスチック製品の販売または提供が禁止されています。

- × 飲料用ストロー
- × カトラリー ナイフ、フォーク、スプーン、箸、先割れスプーン、フードピックなど
- × 皿
- × 飲料用マドラー
- × 綿棒スティック

## × 以下のような発泡スチロール製の食品サービス用品や飲料容器：

- 皿
- カップ
- ボウル
- クラムシェル型食品容器
- カバーまたは蓋

禁止されている使い捨てプラスチック製品とは、その全部または一部がプラスチックでできており、再利用ができないもののことを指します。

この禁止措置は、生物分解性のプラスチック、分解性のプラスチック、堆肥化可能なプラスチックに適用されます。

再利用可能な製品とは、同一の用途で複数回使用することを意図して製造されたものを言い、少なくとも一年間は使用できるよう設計されている旨の、製造業者からの保証あるいはその他書面による表明が付属しています。

使い捨てプラスチック製飲料用ストローを販売、供給、配布、提供する人が、使い捨てプラスチック製飲料用ストローを要求する人、またはその代理を務める人物／団体が障がいや医療上の必要性からストローを求めていると合理的に判断した場合は、違反にはあたりません。

詳細は、[環境保護規則 2021 年のパート 5.5](#)をご参照ください。



[epa.vic.gov.au/plastics](http://epa.vic.gov.au/plastics)

## 禁止措置には一部例外も

この禁止措置には例外があり、特定の健康および安全上の理由がある場合、また代替手段が利用できない場合がその対象となります。

使い捨てプラスチック製品の使用に関しては、4つの例外があります。

- ✓ 科学的、医学的、法医学的な目的または法執行を目的として実施される検査に用いられる綿棒スティック
- ✓ 身体的な危害や傷害行為を防止するため、矯正施設および精神衛生施設において必要なカトラリー
- ✓ 裏面がプラスチック製の紙またはボール紙の皿（2024年11月1日まで）
- ✓ 食品または飲料の、機械による自動包装工程に組み込まれた使い捨てプラスチック製品（2026年1月1日まで）。例：ヨーグルトの容器に入っている使い捨てプラスチック製スプーン。

法令に従って製品を使用している旨を書面にし、取引のある供給業者に提出されることをお勧めします。

## あなたがすべきこと

この禁止措置は、以下を含むすべての企業および団体に適用されます。

- 非営利団体
- スポーツクラブ
- 学校
- その他の法人
- レストラン、カフェ、その他飲食店
- コンビニエンスストア

上記の例外を除き、以下の行為は法令違反となります。

- ビクトリア州で禁止されている使い捨てプラスチック製品を販売、供給、配布、提供すること
- 禁止されている製品の素材について、虚偽または誤解を招くような情報を提供すること

2023年2月1日以前に購入した禁止製品の在庫が残っている場合、以下の対応が可能です。

- 供給業者に連絡し、法令に準拠した代替品との交換またはクレジットが可能かを確認する
- 地域のリサイクル業者に連絡し、大口のリサイクルが可能かを確認する

これらの禁止製品をリサイクルボックスに入れることはできません。

ビクトリア州は企業との連携の下、この禁止措置への理解を深めていただけるよう取り組んできました。これまでにビクトリア州全体で6,500以上の小売業およびホスピタリティ業との面会を経てきました。

ビクトリア州は法令順守に関して段階的なアプローチをとり、最大の変化をもたらすべく重点的に取り組んでいます。規制的手段を用いる際には、問題点と望ましい結果に集中するよう心がけています。

詳細は、[法令順守および執行方針](#)をご参照ください。

この禁止措置に従わない場合、個人には最高11,095.20ドル、法人には最高55,476ドルの罰金が科される場合があります。

禁止措置の内容は州によって異なります。ビクトリア州の法令を理解し、これに従うことはあなたの責務です。ビクトリア州以外で事業を行う場合は、各州の法律をご確認ください。



[epa.vic.gov.au/plastics](https://epa.vic.gov.au/plastics)